

令和2年度第1回あま市総合教育会議議事録要旨

令和2年10月26日（月）
午後2時から午後3時45分まで
あま市学校給食センター
2階 大会議室

1 出席者等

出席者等（委員）	7名
（事務局）	15名
（傍聴者）	0名

2 議題

コロナ禍における教育活動について

【コロナ禍における教育活動について】

（説明要旨）

○現状と課題について

市においても、新規感染者が増加し、児童生徒等などの家族への感染が確認されている。こうした状況を踏まえ、市教育委員会においては、適宜各小中学校と情報共有を行い、感染症予防対策の徹底に取り組んでいる。今後も新型コロナウイルス感染症予防への長期的な対応が求められることが見込まれるため、学校においては、教育活動を継続しながら、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減していく必要があると考える。

○教育活動の実施にあたっての感染予防対策

①地域の感染レベルに応じた学校の行動基準

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルにおいて、地域の感染レベルを1から3に分け、それに応じた学校の行動基準が示された。現在の市は、レベル2に該当しているため、身体的距離は1メートルを目安に確保することや、感染リスクの高い活動を停止するなど、教育活動場面に応じリスクを低減する行動をとっている。

②登校時の健康観察の徹底

登校前に必ず検温と、健康観察を行い、その結果をこの健康観察表に記入して提出している。

③学校における感染予防対策

手洗いと咳エチケットの徹底、マスクの着用、教室内のこまめな換気をしている。また、換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場所が同時に重ならないよう、教育活動の実施をしている。給食の時間は、机を向かい合わせにせず、正面を向いての会食、また各種学校行事を縮小して実施をしている。

④部活動の実施

部活動の実施にあたっては、生徒の健康状態を確認し、発熱等の感染症状がある場合は、部活動の参加を見合わせるよう指導している。生徒の健康安全確保のため、活動内容をできる限り感染リスクが低くなるよう指導している。

○学びの保障への取り組み

①授業時間の確保

授業カリキュラム、学校行事等の見直しを行い、学習時間の確保また、授業日の確保として、今期、夏季休業日を短縮し、合計18日間の授業日を確保した。

②学校保健特別対策事業（感染症対策のためのマスク等購入支援事業）

学校再開にあたり集団感染のリスクを避け、児童生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進。

学校設置者が保健衛生用品等の整備に必要な経費を補助するもの。児童1人当たり340円の補助金、補助率2分の1。

具体的な購入品は、手指消毒液、ペーパータオル、給食の配膳の時に使うビニール手袋等。

③学校保健特別対策事業（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業）

学校において迅速かつ柔軟に感染症対策を徹底しながら、児童生徒の学びの保障をする体制を整える事業。この金額は、学校規模に応じて、100万円から200万円、補助率2分の1。

具体的な購入品は、ワンタッチテント、スポットクーラー、空気清浄機等を購入予定。

④修学旅行への補助

今年度、このコロナウイルス感染症への罹患リスク防止のため、宿泊を伴う修学旅行を日帰りの修学旅行に変更。変更により、企画料（キャンセル料）が発生し、その負担と日帰り修学旅行への補助を実施。企画料は、あま市が全額負担。日帰りの修学旅行に対しては、児童生徒1人当たり1,500円補助。

⑤児童生徒1人1台のタブレット整備

タブレット整備については、整備台数が7,932台。機種は、iPad Wi-Fiモデル、ケース一体型キーボードを予定。併せてこの端末管理ソフトを整備する予定。活用方法は、教育課題検討委員会でこのタブレット端末を活用したICT教育についての課題を検討していく予定。検討課題としては、端末の活用に向けての教職員研修、授業での活用方法、コンピューター教室の活用方針等を検討していく。

○顕在化した主な課題について

「学習保障・教育機会の確保」、「学校と家庭とのコミュニケーション」、「感染者・濃厚接触者への偏見・差別」、「児童生徒の心のケア」、「家庭でのコロナ対策」といった課題あり。

【主な意見・質疑等】

(意見要旨)

○タブレットの説明で、学校間で差があるようなことになってはいけないということが一番である。それと、トラブルがあったらいけない。そういう時にも先生方がみんな対応しなければいけないということになると、それは非常に困るのではないか。それぞれの学校に配置するだけの人が本当に措置できるのかという不安がある。このITだけの話ではなく、もっといろんな形で、先生方をサポートする体制がとれないか。そして地域人材の活用をもっとしていったらいいのではないか。それと大学生は、教員を希望する学生が今非常に減少している。

(回答要旨)

○先生方に負担が掛からないということと、機械操作に不得手な方との差があるので、それをどう埋めていくかっていうようなことも含めて、指導員や補助員の方等について、課題検討委員会の中で学校の校長、教頭、教務、校務、それから事務局というように形で、話を煮詰めていく。

学生ボランティアについて、あま市の場合は、各学校に1人ぐらいいはいて、授業との兼ね合いを考えながら、ボランティアをしてくれる。そういった学生ボランティアさんが、たまたま今まで教員採用試験で、そういった経験を生かして、合格をして、その学校に配置をさせていただいているという例が多くある。

そういった方々をうまく活用して、これから学校で、タブレット端末1人1台に少しでも対応できるような、取り組みをあま市としてはしていきたいなというように思う。

(意見要旨)

○タブレットも当面の間は、家庭への持ち出し、学校からの持ち出しってというのは考えないという方向で検討されていくと思う。パソコンやスマホを扱った教育を国は推進している。当面の間、小中学校については対面指導を重視していくってというような方向も出して見えるが、今回のようにいざ休校で学校に出てこれない時には、オンライン授業みたいなことも視野に入れていく必要がある。

(回答要旨)

○家庭へ1人1台端末を持ち帰っても、すべての家庭で、実際には使えない状況。以前GIGAスクール構想を市長に説明して、いろいろなご議論をいただいた時に、家庭環境が整わなかったらそれで終わりではなく、学校にも今のところパソコンがあり、また、予備のiPad等が各校数台配置されるので、環境が整っていない家庭については、学校のコンピュータールーム等を開放して、タブレットを使った授業も視野に入れていく。

まずは、今年中に先生方は授業で使えるようにする。また、子供たちも授業で使えるようにする。新型コロナウイルス感染症対策で、再度休校になったときに、次に、そういったものを使えるような形のことも、課題検討委員会の方では検討していく必要があるだろうなってことを思っている。そんなようなところを2段階で、まずは授業で、1人1台端末を、費用をかけてそろえていただいて、まずは学校で、それが使えないことにはいけないと思う。環境を充実させて、その後万が一、家庭学習をやむなくされたときには、使えるようにしていきたいということを思っている。

(意見要旨)

○教育委員会サイドはそれで、進めていけばいいと思う。やはり家庭でも必要。学校は学校でできると思う。

○Wi-Fiの設置等のアンケートをされたということでその結果は。

(回答要旨)

○インターネット環境のアンケートの結果ですが、小中学校合わせて合計で、「常に可能」という世帯が84.1%、「限られた日や時間帯に可能」という世帯が13.7%、「視聴できない」という世帯が2.1%。なお、「限られた日や時間帯に可能」、これは子供が保護者の物を使用したり、保護者の方が家にみえて、保護者の物を使用しないと見られない。

動画視聴などに使える端末はどんなものかということもお聞きしている。

「パソコン」が50.2%、「タブレット」が38.4%、「スマートフォン」が64%。

インターネットページの印刷をする環境はあるかということをお聞きしている。プリンタがあるかどうかということで、「ある」と答えがあったのが

65.8%、そういった「インターネットページ等印刷する環境はありません」と答えがあったのが34.2%。

○Wi-Fiだとか、可能なところが84%。そして限られたところで13.7%というのは、合計しても約97%から98%ということである。行政として、どうしていくのか、100%にするのか、それは家庭の事情等もあるし、またそれをWi-Fiに接続するだとか、インターネットに接続するとまたそれに費用が、個人的な費用も、我々が設備を整えても毎月の費用がかかってしまうので、そういった部分というの鑑みなきゃいけない。実際の話いろんな家庭の事情である。

万が一、緊急事態が起きた場合、学校が休校になった場合のことを鑑みると、全員休まなければいけないのか。もしくは、オンラインができない子については割合を見ると、密にはならない状況になるので、学校にそういう時は登校していただいて、学校でしか学べない各家庭、お子さんもしくは家庭でもちゃんとオンラインで学べる子たち、また、家庭のパソコンが1台で、兄弟が3人いた場合は、同時にパソコンは使えないと思うので、そういった状況の時に限定して学校に登校をしていただいて、密にならないような体制で、教育を受けれるような形を作っていかなきゃいけないなと思う。

(意見要旨)

○タブレットの整備等が緊急に実施されるということで、そういった点はいいと思うが、コロナに関係している部分が大多数だと思う。将来的に考えると、もうデジタル教科書というのは次の世代には確実に入ってくるし、ICTを使う教育というものがかなり進んでくるはずだと思う。

市のビジョンを考えていくうえで、パソコンやタブレットが使える環境をあま市全体で作っていく必要性が出てくるかなと私は思うが、市長はそのあたりどのようにお考えか。

(回答要旨)

○いろんな家庭があると思う。その中で、財政的な支援をしなければいけない家庭に限っては、しなければいけないと思う。しかしながら、その中には100%そういう方々だけじゃないという認識を持っている。財政的なことで言うと、所得に制限を持ってやるだとか、その辺ぐらいからスタートかなと思う。裕福な家庭に支援するのかなというのと、またそこは違うのかなという考えもあるので、やはり所得に合わせて、基準以下のところはあま市が支援等があるが、その辺の支援っていうのが難しい場面も出てくるだろうなと思う。今のところ95%以上が何らかの形でインターネットができると。親御さんのスマホから、テザリングして使うということも出てくるとは思うけども、その辺はきちんと調査をしながらやっていかなければいけないが、なかなか難しい面もあり、そこにはクリアしなければいけない面も出てくると思う。

(意見要旨)

○この話に関連して、学校教育ばかりじゃなくて、いわゆる社会全体として、これからその辺はどのようになっていくと市長はお考えか。

(回答要旨)

○100%なってくると思う。タブレットは必ずそこに教科書が入ってくるので、教科書が入るイコール持ち帰らなきゃいけないっていうようになるので、持ち帰るとWi-Fiの設置っていうのは、必ず学校や各家庭でも必要になってくる。

○電子教科書等その辺のところについて、教科書会社の方とも話していて、それから文科省あたりも、次の中学校の教科書採択については電子教科書でというようなことが本当にできるかどうかは疑問だとは思う。将来的には本当に電子教科書でタブレットに組み込まれて尚且つ無償化という前提で本当にできるのかな、というようなことも少し疑問に思う。いずれにしても、今現在はどこも手探り状態。教育委員会で、どういう課題があったり、それから学校でどんな状況なのかっていうことを、先進地区の中で情報を収集して、あま市にそれを置き換えて、整備をしたり、いろんな研修をしたりとか、そういったことを計画的に、課題検討も含めた形で教育委員会としてはやりたいというふうには思う。

○市としての意見は、タブレットを生徒1人1台ずつ配備、そして次には、電子教科書が必ず来るだろう、という予測をされている。ある程度予測をした上で、オンライン授業だとかも含めて、家で持ち帰ってでもできるような形づくりっていうのは、必ず作っていかなくちゃいけないなと思う。

(意見要旨)

○ICTは間違いなく進んでくるとは思う。やはり先生方に大きな負担がかかってしまっている。多忙化解消とかって言うておりましたけれども、なかなか良い方法が見つからないままに仕事だけが増えている状況に思う。学校だけではできないと思うので、教育委員会で何かやっているか。

(回答要旨)

○これは予算が伴うことで、これからの検討になってくると思う。やはり専門家やアドバイスをしていただける方を学校に1人とか巡回をしてもらうなど、そういったことは必要だと思う。本来的には3年計画だとか、それぞれの市町村の状況に合わせて、研修をしながら、というような状況だったが、新型コロナウイルス感染症の対策で、1人1台端末が来てしまっている。この状況に遅れをとらないようにするのはやはり教育委員会の方だと思うし、そのためにはある程度の専門家のお力も借りをしなないといけないと思う。

(意見要旨)

○タブレットが生徒1人1台手に入るのは、この4月からか。いつからそうい

う状況になるか。

(回答要旨)

○今年度末までに整備する。

(意見要旨)

○来年の新学期の4月からか。

先生方はその時点も使える状況になっているということか。

それは授業にすぐ4月から使えるのかどうか。

(回答要旨)

○全国的に、このタブレットの発注ということなので、物自体の納入が本当に年度内に何とかできるかなぐらいな見通しだとは聞いている。実際は物がきて、見た時点ですでに全員が操作できる状況かっていうと少し現実的に難しいかなと思う。今月から課題検討委員会を立ち上げて検討を始めるけれども、実際にどういうふうに指導していったらいいかという指導事例を、まずは積み上げていく。

○やはり、現物を触ってみて、どのようなものか分かる部分があると思う。文科省も実際にタブレットを使った授業例っていうのをもうすでに出しているの、生徒及び児童生徒や先生方が、タブレット端末の授業で何ができるのかイメージ化を図ってもらおう。

今は伊福小学校に1人1台端末ではないが100台の端末が整備されているので、伊福小学校に先進的なことをやっていただいて、できないことの調査だとかをやっていただく。伊福小学校を本当にトップランナーとして、当分の間は研修を伊福小学校で行ったり、各学校である程度のレベルまで先生方のICTの関係、タブレット等端末を使った学校での活用ができるような体制づくりをやっていきたい。

(意見要旨)

○オンライン授業っていうのはすぐに入ってくる。国が進めているので、もう現場が置き去りにされているだけで、進んでいくので、軌道に乗るまでは、やはり少し力が要る。非常に大切だなというふうに思うので、できる範囲での協力もまた学校に対し支援していただきたいなという、お願いになってしまう。

(回答要旨)

○オンライン授業に関して、タブレットの使い方が、先生方が大事なのか、それともオンライン授業するものが大事なのかって僕、これ違うと思う。オンライン授業とタブレットの使い方っていうのは、だからその辺のところをきちんと分けないといけないかなと思う。

(意見要旨)

○まずは先生方にタブレットを活用できる能力を身につけていただくのが一

番だと思う。

(回答要旨)

○オンライン授業になってくると、撮影する場の設定も必要。美和高校の新任の若い先生が、数学のオンライン授業で初めて、子供たちの前で、こういった授業がオンライン授業だと説明をされた。

オンラインで授業だとか、朝の会をやったりだとか、そういったようなことと、やっぱりまずは授業で、きちっとタブレットを活用した授業が成立するような、そういう部分の体制づくりをしっかりと行う。

(意見要旨)

○タブレットの活用という面ではそういう方向でいいが、社会全体がそういう世界になってくるので、学校で子供が学ぶだけでは、駄目じゃないのということ。社会全体がそういう環境になっていかないと家庭での子供への教育とか指導をするのは多分保護者の方ではできないでしょうし、学校だけが先行していくっていうものではこれはないのかなあというふうには確かに思う。

(回答要旨)

○これからの大きな課題で、持ち帰る。

(意見要旨)

○新型コロナウイルス感染症防止ということで、あま市全体を見ると結構多いねと言われているが、学校の中の感染防止対策っていうのは、今日説明があったように、結構効果が上がっていると思う。

その学習の遅れ。その保護者の方や子供が、どう思ってみえるのか、というところが、何か客観的なものあるか。

(回答要旨)

○なかなかこれ遅れているかどうかっていうのは難しい。その指標は何をもとにして言うかということになる。

○今年は各学校訪問という行事が、海部7市町村全部でなくなったが、代わりに各学校の諸帳簿の点検ということで、現在、各学校を回っている途中。これまでのところで、例年行っている大きな行事を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため密を避けるという意味もあって、或いは授業時間を確保する効果もあって、カットしたり、縮小している。それによってかかる準備時間を授業に振り替えることができ、夏休みの中で18日間授業を今年度行い、かなり多くの授業数を、確保することができました。ここまでの、大体例年の授業の時間数にほぼ追いついてきたということは聞いている。

○小学校のお子さんをお持ちの委員も見えるし、それから、学童で子供たちの様子を見ているから、その点の観点から。

(意見要旨)

○児童クラブの方では学校が始まったばかりの時は、やはり宿題がとても多かったのですが、イライラしている子供が多かった。しかし1ヶ月ぐらい経つと、もう子供たちも落ち着いてきて、宿題の量もいつも通りになり、今はもう宿題の量が減ってきて大丈夫かなってというぐらい子供たちは、伸び伸びとしている。また、外で元気に遊ぶこともしている。

あと、タブレットの方では、それが学習道具になるっていうのは、私すごい改革だなと思う。これからのICTの世の中で、基礎的な知識を義務教育の中で全員が同じように習うっていうことは、私は羨ましい。学校でしっかりと間違いなく教えてくださるっていうのは、保護者の方もとても、うれしいと思うので、このタブレットの導入が、私が考えてもすごくうらやましい。

(意見要旨)

○学校が始まったころはやはり宿題が多いっていうことは言っておりましたがけれども、授業のスピードは現状に比べればやはり多いのか、早いのかもわからない。それが当たり前で今はやっているし、不安には思っていない。教育機会の確保ということで、まち体験とか、企業の職場体験という、実体験をする機会っていうのが奪われてしまっている中で、その中でも学校の方は、コロナ禍の時代だからこそ、その気づきや学びっていうのがあるってことで、道徳でそういう偏見や差別について議論していただいたり、あと体験を取り入れていただいたり、そういう機会は本当に与えていただいているので、本当に一生懸命、先生方はコロナ禍であっても、学習させていただいている。

(意見要旨)

○修学旅行やキャンプ等の野外学習なんかは中止になったり、それから、3日かかるものが日帰りになったということで、市の補助が出ているというふうにしてある。1年目から積み立てたお金というのがあると思う。そういうものはどうなっているのか。

(回答要旨)

○アルバムの費用やさまざまなものを計算しながら、学年費という形で、小学校であれば5年生の段階ぐらいから、学級費という形の積み立てをやっている。中学校の場合は学校によって違うけれども、修学旅行に関する場合、修学旅行は2泊3日で大体5万ぐらいかかる。そこから必要経費の算出をすると、アルバムは1冊、7,000円から1万円近くするので、60,000円から70,000円ぐらいの積み立てをしている。修学旅行は旅行会社をお願いをする時点で、企画料が発生する。企画料は、1人あたり1,500円から2,000円ぐらい必要になる。3年生になると2年生の段階から担当を決めて、修学旅行の計画を立てる。その時に、もうゼロベースでは教師の負担がかなり大きい。また、子供たちのグループの分散やクラス分散をするときに、自分たち

で調べることは調べるが、はたして妥当なのかどうなのかっていうことを旅行社の方に来てもらい、レクチャーしてもらい、2泊3日の日程を決めていく。市単独の修学旅行に関する補助については、1人1,500円。積み立てはある。例えば3密を防ぐためにバスを、2クラスで2台だったら3台にして、密を防ぐということで、そういったものの経費に充ててもらおうということで1人1,500円というのを、補助をしたというのが、市単独の補助という形。

(意見要旨)

○今まで積立てきたお金は、残るものもあるのでは。

(回答要旨)

○そこは年度末のところで予定しており、教材等を購入するために集めているお金と、行事、修学旅行、キャンプやアルバムを購入するための積立金という、多くの学校が二本立てでやっているの、修学旅行が終われば、アルバムの値段で大体見通しが立つため、その残額を返金されるのか、その残額で毎月収める学年費は充当できるので、学年費を集めませんという形になるのか、そこら辺はきちんと各保護者に会計報告とともにしていくことになるというふうに、学校からは聞いている。

○子供たちの負担を市として軽減をする。今回については、中3と小6についてはそういう措置をとらせていただいた。積立金については、余る状況であれば、返金の可能性もある。

(意見要旨)

○市内のコロナ感染の状況というのは、愛知県自体が市町の発表だけであって、あまり公表してないのか。例えば、県があま市で何人とかって出す。それがもう少しこの地域であるとか、こういった関係で感染したよ、とかそういうのは情報提供をすることはできないか。

(回答要旨)

○あま市は、津島保健所の圏内になる。県としては津島保健所から何人出ましたというのが、本来の姿である。

(意見要旨)

○この地域は多いのか。

(回答要旨)

○多い。あま市が今70で留っている。他の市町村と比べ人口割にすると多い。

(意見要旨)

○知多半島の方とか半田とかクラスターがでて、学校が休校措置とかになる。もしあま市でもそういうことがあって、学校が休校措置されたと公表されると、また噂が噂を呼ぶのではないか。

(回答要旨)

○実際に我々が公表したのは1回だけ。あま市のパートの職員がなりました。その時だけ公表しました。ただし、その方は、稲沢の方で、あま市でカウントはされていない。ですが、職員として、ということがありましたので公表した。あとは公表していない。

(意見要旨)

○しないほうがいいという判断もある。

(回答要旨)

○新聞報道もあまりしなくなりましたね、数だけにとどめている。

(意見要旨)

○そのまま落ち着いてくるのを見守るのか。

(回答要旨)

○名古屋の方が本当に落ち着けば、我々の方もついてくるということであるけども。もう少し言うと夜。

(意見要旨)

○知事は解除したのではないか。

(回答要旨)

○解除したけども、どこへ行くのかっていうだけの話で、食べに行くとかではない。今回も「4頭在化した主な課題について」のところ、「家庭でのコロナ対策」、学校ではきちんとやっているの、あとは家庭。

(意見要旨)

○学校も含めて、しばらくはずっとつき合っていくのかな。

(回答要旨)

○しばらくは新しい生活スタイルで生活していくしかありえないと思う。

(意見要旨)

○だけどその中でも、先生方が大変ということは理解いただきたいと思う。

(回答要旨)

○市役所も行っているが、朝昼晩と消毒を必ず。特に授業終わってからは、机と腰かけ等々については毎日本当にずっとやってもらえる。こういった状況で子供たちへの感染がないのかなというふうに思う。3密を防ぐことを実践しながら、消毒だとか、うがいだとか、それからマスクをはめるとか、咳エチケットだとかそういうのは子供たちはほぼ身につけている。その辺のところは子供たちが大人を見習って、油断することなく、学校からコロナに関する予防に対してのお知らせを出すときには、家族の方々も、というような一文を必ず、学校や教育委員会メールで発信をするが、その一文だけとはとにかく入れて、これからも注意を促して市民の方々に意識をしてもらうようにしたいと思う。

○学校では、なかなかコロナになることは、多分大丈夫だと思うので、あとは家庭。

○学校はもう対策している。

(意見要旨)

○誰かがかかれば間違いなく家族全員かかる。

(回答要旨)

○願わくば、食事も何もかも別にしちゃうとありがたいと思うが、無理なこと。

(意見要旨)

○日帰り修学旅行以外に、各学校では何かいろいろ考えているのか。

(回答要旨)

○11月の4日、校長会議があるので、コロナによって新たに何か工夫したものはあるかどうか聞いてみたいと思う。今のところ、修学旅行以外は把握していません。

(意見要旨)

○寂しい思いをさせてはいけない。

(回答要旨)

○修学旅行と、あとはキャンプをデイキャンプのような形にしていこうというところを計画しているところもある。あとは学習発表会といったものも無しの方で進めている。

その他

○次回第2回のあま市総合教育会議の開催時期は2月を予定。事前に日程調整のうえ決定する。